

CASBEE-建築(新築)2016年版
 清仁保育園移転・新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q1 建築物の環境品質									2.0
Q1 室内環境					0.40		-		1.8
1	音環境			1.9	0.15		-		1.9
	1.1 室内騒音レベル			-	-		-		
	1.2 遮音			2.4	0.67		-		
	1 開口部遮音性能			1.0	0.30		-		
	2 界壁遮音性能			3.0	0.30		-		
	3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	0.20		-		
	4 界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	0.20		-		
	1.3 吸音			1.0	0.33		-		
	2 温熱環境			1.0	0.35		-		1.0
	2.1 室温制御			1.0	0.63		-		
	1 室温			-	-		-		
	2 外皮性能			1.0	1.00		-		
	3 ソーン別制御性			-	-		-		
	2.2 湿度制御			-	-		-		
	2.3 空調方式			1.0	0.38		-		
	3 光・視環境			2.4	0.25		-		2.4
	3.1 昼光利用			2.2	0.67		-		
	1 昼光率			1.0	0.60		-		
	2 方位別開口	天窓(トップライト)使用している。		-	-		-		
	3 昼光利用設備			4.0	0.40		-		
	3.2 グレア対策			-	-		-		
	1 昼光制御			-	-		-		
	3.3 照度			3.0	0.33		-		
	3.4 照明制御			-	-		-		
	4 空気質環境			2.5	0.25		-		2.5
	4.1 発生源対策			4.0	0.50		-		
	1 化学汚染物質	JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。		4.0	1.00		-		
	4.2 換気			1.0	0.30		-		
	1 換気量			-	-		-		
	2 自然換気性能			-	-		-		
	3 取り入れ外気への配慮			1.0	1.00		-		
	4.3 運用管理			1.0	0.20		-		
	1 CO ₂ の監視			-	-		-		
	2 喫煙の制御			1.0	1.00		-		
Q2 サービス性能					0.30		-		2.6
1	機能性			2.4	0.40		-		2.4
	1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40		-		
	1 広さ・収納性			-	-		-		
	2 高度情報通信設備対応			3.0	1.00		-		
	3 バリアフリー計画			1.0	0.30		-		
	1.2 心理性・快適性			-	-		-		
	1 広さ感・景観			-	-		-		
	2 リフレッシュスペース			-	-		-		
	3 内装計画			1.0	1.00		-		
	1.3 維持管理			3.0	0.30		-		
	1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50		-		
	2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50		-		
2	耐用性・信頼性			2.9	0.30		-		2.9
	2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50		-		
	1 耐震性(建物のこわれにくさ)			-	-		-		
	2 免震・制震・制振性能			3.0	1.00		-		
	2.2 部品・部材の耐用年数			3.2	0.30		-		
	1 躯体材料の耐用年数			3.0	0.20		-		
	2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			2.0	0.20		-		
	3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.10		-		
	4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10		-		
	5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水 HVP(B)、排水 VP(B)、給湯 SUS(C)、Eは不使用。		5.0	0.20		-		
	6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20		-		
	2.4 信頼性			2.6	0.20		-		
	1 空調・換気設備			3.0	0.20		-		
	2 給排水・衛生設備			2.0	0.20		-		
	3 電気設備			3.0	0.20		-		
	4 機械・配管支持方法			3.0	0.20		-		
	5 通信・情報設備			2.0	0.20		-		

3	対応性・更新性		2.7	0.30	-	-	2.7
	3.1 空間のゆとり		2.2	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり		1.0	0.60	-	-	
	2 空間の形状・自由さ	0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3	4.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性		3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	1.5
1	生物環境の保全と創出		1.0	0.30	-	-	1.0
2	まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
3	地域性・アメニティへの配慮		1.5	0.30	-	-	1.5
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		1.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.4
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	4.0
1	建物外皮の熱負荷抑制	[BPI _m] = 0.58	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	[BEI _m] = 0.67	4.3	0.50	-	-	4.3
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.9
1	水資源確保		2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1 節水		1.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		3.1	0.60	-	-	3.1
	2.1 材料使用量の削減		-	-	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	床: ビニル系床材	3.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.11	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	LGS使用している。	4.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	
	1 消火剤		-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。	4.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.2
1	地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率 81%	3.7	0.33	-	-	3.7
2	地域環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.2	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	駐輪場と駐車場は確保されて、出入り口が渋滞を緩和します。	4.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	1.00	-	-	
	2 振動		-	-	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		-	-	-	-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE-建築(新築)2016年版

清仁保育園移転・新築工事

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	4.0		-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	1.0	1.0	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0		-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	2.0		2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	4.0		-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	1.0		○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	9.0		1.0	-	3.0	3.0	-	-	-	1.0	1.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	3.0		1.0	-	1.0	-	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	1.0	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	1.0	窓の日射熱取得率(η)	0.9
U値(W/m2K)	窓システム 4.0	屋根 0.2	外壁 0.4
		床 2.7	
住戸部分	窓システムU値 -	外皮UA値 -	ηAC -
			ηAH -
3.1.1 昼光率	0.8%		
4.2.2 自然換気性能			
Q2 サービス性能			
自然換気有効開口面積率	0.0%		

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

1.1.2 高度情報通信設備対応

1.2.1 広さ感・景観

1.2.2 リフレッシュスペース

2.2.1 躯体材料の耐用年数

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

3.1.1 階高のゆとり

3.1.2 空間の形状・自由さ

3.2 荷重のゆとり

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

3.2 敷地内温熱環境の向上

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

2 自然エネルギー利用

3 設備システムの高効率化

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

2.5 持続可能な森林から産出された木材

3.2.1 消火剤

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

3.2.3 冷媒

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

執務スペース	.0㎡ /人	病床	.0㎡ /床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡
コンセント容量	0.0 VA/㎡					
天井高	0 m					
リフレッシュスペース	0.0%	レストスペース	0.0%			
想定耐用年数	0 年					
想定必要間隔	0 年					
想定必要間隔	0 年					
想定必要間隔	0 年					
階高	0 m					
壁長さ比率	16.0%					
床荷重	- N/m2					
外植緑化指数	0%	建物緑化指数	0%			
空地率	70%	水平投影面積率	0%	地表面対策面積率	0%	舗装面積率
						70%
BPI/BPI _m	0.58	断熱等性能等級	対象外 相当			
自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%	
		通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%	
BPI/BPI _m	非住宅 0.67	住宅	-	太陽光	.0kW	太陽熱等
					.0kW	蓄電池
					.0kW	
雨水利用率	0.0%					
特定調達品目	ビニル系床材	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-	
使用比率	0.0%					
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)				
オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	3			
オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)				
見付面積比	35%	隣棟間隔指標Rw	4.66			
地表面対策面積率	0.0%	屋根面対策面積率	0.0%	外壁面対策面積率	0.0%	
見付面積Sb	30㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅Ws	30 m	基準高さHb	30 m	
緑地	㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面
					㎡	再帰性反射対策面
						㎡